東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所
2018年度　パフォーマンス向上会議情報（2018年11月15日（木）分）

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【既設多核種除去装置吸着材交換用操作盤内の空気配管からの空気の漏えいについて】 既設多核種除去装置吸着材交換用操作盤内の空気配管からの空気の漏えいを確認。 空気供給弁を閉とし、空気漏えいは停止。既設多核種除去設備の運転に支障なし。 当該空気配管を点検・修理予定。	GⅢ
2	【5号機サービス建屋空調機給気側追加フィルタユニット出口ダクト継手部からの空気の漏えいについて】 5号機サービス建屋空調機給気側追加フィルタユニット出口ダクト継手部からの空気の漏えいを確認。 空気の漏えい量は微少であり、運転上問題なし。	GⅢ
3	【共用プール冷却浄化系ろ過脱塩器（B）逆洗時における沈降分離タンク（B）の液位上昇について】 共用プール冷却浄化系ろ過脱塩器（B）逆洗時において、沈降分離タンク（B）の液位上昇を確認。 原因調査の結果、前日に実施したろ過脱塩器（B）の出口ストレーナ逆洗で使用した逆洗水入口弁が開いていた。 当該の逆洗水入口弁を閉止して、沈降分離タンク（B）の液位が上昇しないことを確認。	GⅢ